

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん西難波第二		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自立や就労に向けた支援の向上	検温、始まりの会、おやつ準備、イベント準備など子供たちが主体となって行うことで、決定・判断する機会を設けている。また作業学習、面談練習など就職に向けた取り組みも行っている。	就労先への見学などをおこない、就労への取り組みに生かせるようにしていく。
2	他店舗や外部との交流	他店舗との合同イベント、地域のお祭りへの参加や出店、近所の公園での交流を行っている。	継続して感染症などに配慮しながら、他店舗との交流を図る。
3	保護者との密な連携	送迎時やLINEでの連絡、定期的な面談を実施している。	保護者会や座談会を開催し、より深い意見交換の場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がない。	事務スペースや室内を区切る、ソファなどくつろげるスペースを活用している。	可能な範囲で静かに過ごせる環境を工夫する。
2	就学前、学校卒業後の関係機関と情報共有の機会がほとんど無い。	今年度、初めて卒業を迎えるので、情報提供などを行っていききたい。	関係機関との定期的な情報交換の場を設ける。
3	活動プログラムの多様化が求められている。	一部プログラムが固定化しやすい傾向がある。	季節や子どもの興味に応じたプログラムの変更を定期的に行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみかん西灘波第二

公表日 2025年2月28日

利用児童数 33人

回収数 31人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	5	0	1		こどもの活動スペースについては十分に確保されているとの評価が多く、引き続き現在の環境を維持していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1	0	1		職員の配置数に関しても適切であるとの評価が多いため、現状の体制を維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	1	2		生活空間の構造化やバリアフリー化について概ね適切と評価されましたが、引き続き環境整備を進め、より適した支援環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	27	2	0	2		生活空間の清潔さと心地よさに関しても高い評価をいただいているため、現状の維持とさらなる改善に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1	0	0		こどもの特性に応じた専門的な支援が受けられていると高評価をいただいているため、引き続き支援の質を保ちます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	0	0		支援プログラムと実際の支援内容の整合性についても評価が高く、引き続き現在の内容で提供していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		個別支援計画について、こどもや保護者のニーズを踏まえた適切な作成が行われているとの評価があり、今後も丁寧な計画策定を継続します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2	0	1		放課後等デイサービス計画における支援内容の適切な設定が行われているとの評価を受け、引き続き計画の質を向上させていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1	0	1		放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているとの評価を受け、引き続き計画に基づいた支援を徹底します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1	0	0		活動プログラムの多様性についても評価が高く、今後も固定化を防ぎつつ新しい活動を取り入れていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	5	13	学校で活動しているので、特になくても問題ない。	地域のこどもとの交流については意見が分かれたですが、「学校で活動しているので特になくても問題ない」との声もあったため、無理のない範囲で機会を模索していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		運営規程、支援プログラム、利用者負担の説明について適切に行われているとの評価を受け、引き続き丁寧な説明を行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		放課後等デイサービス計画の説明についても評価が高く、引き続き継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	7	2	9		家族支援プログラムや研修会の実施については意見が分かれたですが、今後も可能な範囲で情報提供の機会を増やしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30	1	0	0		こどもの状況の保護者との共有についても高い評価をいただいているため、引き続き密な連携を心掛けます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	3	0	0		面談や子育てに関する助言についても評価が高く、今後も定期的な支援を継続します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	0		職員の共感的な支援については非常に高い評価をいただいたため、引き続きこの姿勢を大切にしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	5	12		保護者同士やきょうだいの交流機会については意見が分かれたですが、今後も要望を踏まえながら検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3	0	2		相談や申し入れの対応体制についても適切であるとの評価があり、今後も迅速で適切な対応を心掛けます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	0	0	0	情報伝達の配慮について高評価をいただいたため、引き続き丁寧なコミュニケーションを継続します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	0	0	1	通信やSNS等での情報発信についても評価が高いため、引き続き定期的な発信を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	1	個人情報の取扱いについても十分配慮されているとの評価を受け、今後も適切な管理を徹底します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	2	事故防止や緊急時対応マニュアルの策定および訓練について一定の評価をいただいておりますが、さらなる周知と実施の強化を図ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1	1	1	非常災害時の訓練についても適切に実施されているとの評価を受け、今後も継続して行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	1	1	子どもの安全確保のための計画周知については引き続き徹底し、安全な環境を維持します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	2	事故発生時の対応については迅速で適切に行われているとの評価をいただいているため、引き続き対応の徹底を図ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	1	子どもが安心して通所できているとの評価を受け、引き続き環境の維持と向上に努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	1	通所を楽しみにしているとの評価を受け、引き続き楽しく過ごせる環境作りを行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0	インフルエンザで学級閉鎖になると本人が元気で、デイが利用できなくなるのでそこが改善されればよいと思う。支援への満足度について高評価をいただきましたが、「インフルエンザで学級閉鎖時に元気な子どもでも利用できない点の改善要望」がありました。行政の指導基準を踏まえつつ、可能な対応策

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみかん西難波第二		公表日		2025年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	室内を区切り、グループを分けて活動している。	利用定員については、室内の区切りやグループ分けを行い、適切な環境を維持しているため、引き続きこの対応を継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	基準に従って配置している。	職員配置については、基準を遵守しつつ利用者の特性に応じた増員を行っており、今後も安全確保を最優先に対応を続けていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	イラストや写真を使用し視覚支援に務めている。	生活空間の構造化については、イラストや写真を用いた視覚支援を継続しつつ、異年齢の児童に適した支援を提供できるように定期的な見直しを行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	毎日、支援後に清掃及び消毒を行っている。	清潔な生活空間の維持については、支援後の清掃消毒を引き続き徹底していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	個室がないため、事務スペースや室内を区切る、ソファなどくつろげるスペースを活用している。	個別の場所の確保については、現状の事務スペースやソファを活用しながら、クールダウンスペースの設置も検討する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	毎日の振り返り等は常勤職員でおこない、非常勤職員へは会議にて発信・振り返りを行っている。	業務改善のPDCAサイクルについては、引き続き職員の振り返りを行い、非常勤職員への情報共有も継続する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	会議にて発信を行っている。	保護者向け評価表の活用については、長期休み等で会議時間の確保が難しいため、事前の情報発信を工夫していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	会議にて意見を交換できる時間を設けている。個別での聞き取り等も行っている。	職員の意見把握については、会議の場での意見交換や個別の聞き取りを継続する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	他事業所の方や相談支援の方にいただいた意見を元に業務の改善に努めている。	外部評価については、引き続き他事業所や相談支援からの意見を取り入れつつ、必要に応じて評価項目の作成も検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	外部講師や法人内の専門職による研修会の実施を行っている。	職員研修については、研修機会を確保しつつ、定期開催を目指して改善していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ガイドラインの発達の5領域や子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に作成されているが、公表はできていない。	支援プログラムの作成については、職員間で適切に作成を継続し、公表の準備を進める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	子どもや保護者のニーズや課題について職員間で定期的にアセスメント、モニタリングを行い、計画の作成を行っている。	アセスメントについては、定期的なモニタリングを継続し、支援計画に反映していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	子どもや保護者のニーズや課題について職員間で定期的にアセスメント、モニタリングを行い、計画の作成を行っている。	放課後等デイサービス計画については、職員間での共有を強化し、計画に沿った支援を継続する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	日々の会議やモニタリング月に、計画の確認を行い、支援の方法や目標の評価の度を行っている。	適応行動のアセスメントについては、標準化されたツールの活用を検討する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		標準化されたツールの活用を検討しつつ、日々の行動観察を通じたインフォーマルなアセスメントを継続する。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえ、支援内容を具体的に設定し、計画に適切に反映する。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	毎月の活動内容とともにプログラムの立案をチームや担当制にして行っている。	毎月の活動プログラムをチームで立案し、担当制を導入しながら多様な活動を企画・実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節に応じたプログラムの設定を行い、実施をしている。また、繰り返し行えるプログラムに関しても振り返り、変更を加えた上で実施を行っている。	活動プログラムの多様化については、季節に応じた設定や振り返りを行い、固定化しないよう工夫を継続する。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	状況に応じて個別活動、集団活動を組み合わせ、計画の作成、支援を行っている。	個別活動と集団活動の組み合わせについては、適宜取り入れ、計画に反映する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝会議は非常勤職員の出勤に合わせて行っている。	支援の事前打合せについては、非常勤職員の出勤時間に合わせて引き続き実施する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	退勤時間に差がある為、個別での振り返りを行い、後日、朝会議で再度共有している。	支援後の振り返りについては、退勤時間の差を考慮し、個別振り返り後に朝会議で共有する方式を継続する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	会議の議事録に記録し、虐待に関する内容があった場合は、弱体会議議事録として記録している。	支援記録の徹底については、引き続き議事録等に記録し、検証改善につなげる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		モニタリングの定期実施については、引き続き継続する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		基本活動の組み合わせについては、改善の余地を検討する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	検温、始まりの会、おやつ準備、イベント準備など子どもたちが主体となって行うことで決定、判断する機会を設けている。	自己決定支援については、引き続き子どもが主体的に関わる機会を提供する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		関係機関との連携については、引き続きこどもの状況を理解した職員が参加する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		主治医や医療機関、障害福祉、保育・教育機関との連携を強化していくことを検討する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	必要に応じて、学校への連絡確認や、担任より行事予定表の確認を行っている。	学校との情報共有については、適宜連携を取りながら進める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		就学前施設との情報共有については、よりスムーズな連携を目指し改善していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	今年度初めて卒城を迎えるので、情報共有などを行ってきたい。	卒業後の支援移行については、初めてのケースに対応するため、情報共有を進める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	現在行っていない。	児童発達支援センターとの連携については、必要に応じてスーパーバイズの機会を検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	近所の公園や、地域の祭りに参加している。	保護者交流の機会については、今年度は見合わせたか、今後の開催を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6	ネットワーク会議など年に数回参加している。	協議会への参加については、ネットワーク会議等への参加を継続する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳とは別に、LINEや送迎時に詳細のやり取りを行っている。	保護者との情報共有については、連絡帳やLINEを活用し、適時対応を継続する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	連絡帳、メール、送迎時のやりとりの中で解決法を話し合っている。	家族支援プログラムについては、現行の方法に加え、より有効な支援方法を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	見学、契約時に書面を用いて説明している。	運営規程や支援プログラムの説明については、引き続き書面を用いて丁寧に行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	定期的なアセスメント、モニタリングを行い、子どもや保護者の意向を確認している。	こどもや保護者の意思を尊重し、最善の利益を優先的に考慮するため、定期的なアセスメントやモニタリングを通じて意向の確認を行い、計画に適切に反映する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	半年ごとの面談時に作成し、内容について説明させて頂き、同意を得ている。	計画の同意については、定期的な面談を通じて確認を継続する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者より悩み事や相談があった場合は、送迎時やLINEにて適時助言などを行っている。	保護者の悩み相談については、送迎時やLINE等を活用し、適切に対応する。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	現在は開催できていない。	昨年度は、交流の機会を設けることができていたが、今年度は、子どもたちの状態から見合わせている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	保護者より苦情があった場合は、子どもや保護者への周知、体制の整備を行っている。	苦情対応については、迅速かつ適切な対応を継続する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	みかん通信の配布、ブログの配信を行っている。	広報活動については、みかん通信の配布やブログの配信を継続する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	雇用契約時に誓約書へのサインをし、研修時にも周知徹底をしている。みかん通信の写真はモザイク処理を行い、個人が特定されないようにしている。	個人情報の取り扱いについては、研修と誓約書を活用し、適切に管理する。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	保護者への情報伝達に関して、職員間で共有し、対応を含めて話し合っている。	意思疎通情報伝達の配慮については、引き続き職員間で共有し対応する。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	店舗でのイベント時、ボランティアの方の受け入れを行い参加してもらっている。	地域開放については、引き続きボランティア受け入れ等の機会を設ける。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	法人として定期的に委員会に参加し、マニュアルをもとに発生を想定した訓練を実施している。	安全管理については、マニュアルに基づく訓練を継続する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	避難時に必要なリストや役割分担を決めている。地震や火災など、ケースに応じた訓練を行っている。	BCP策定と訓練については、引き続き定期的に実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	ワークシートの確認、モニタリング月に、服薬の確認を行っている。	服薬管理については、ワークシートやモニタリング月での確認を継続する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ワークシートの確認、モニタリング月に、服薬の確認を行っている。	食物アレルギーの対応については、引き続き医師の指示書に基づき適切に対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、部屋のチェックリストを基に必要な措置を講じる。	安全計画については、部屋のチェックリストを活用し、安全対策を継続する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		家族との連携を重視し、安全計画の内容を適切に周知し、必要に応じた対応を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	共有に関して目を通しやすい書式を採用して行っている。ヒヤリハットが起きた場合は再発防止について検討している。	ヒヤリハットの共有については、見やすい書式を採用し、再発防止策を検討する。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会への参加、職員への周知を行っている。	虐待防止については、研修機会の確保や委員会への参加を継続する。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束委員会への参加、必要に応じて身体拘束についての検討、保護者様への説明、計画への記載を行っている。	身体拘束については、必要時に組織的に検討し、保護者へ説明を行い、計画に記載する。	